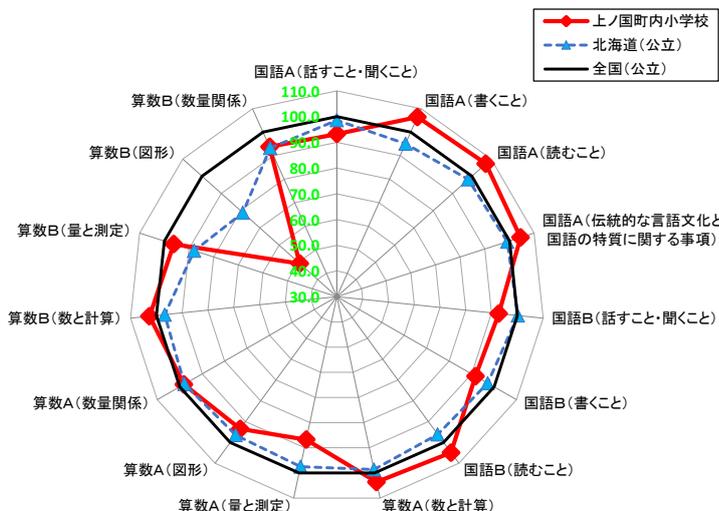


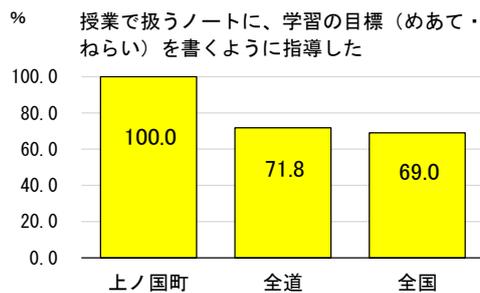
■上ノ国町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:31人)

【教科全体の状況】

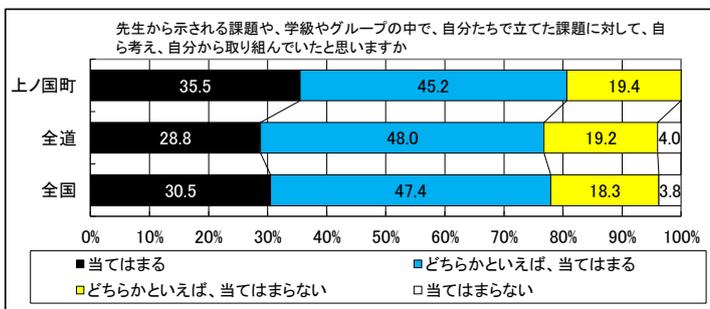
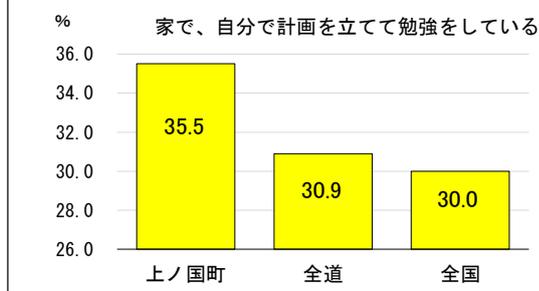
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 算数Aでは、「数と計算」、Bでは、「数と計算」で全国を上回り、算数Aでは、「数量関係」、Bでは、「量と測定」「数量関係」で全道を上回っている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> すべての学校で「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)を書くように指導した」と回答している。 すべての学校で「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。

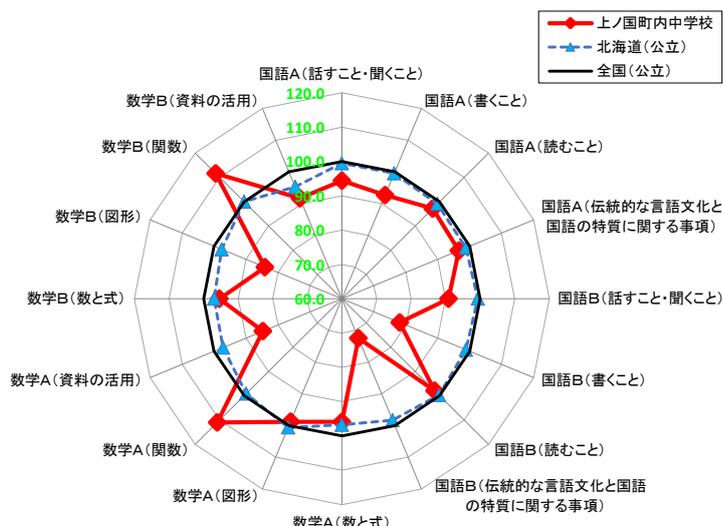
【上ノ国町の学力向上策】

- ◎ 上ノ国町「学びの共同体」に基づく保小中高間連携による育ちと学びの課題克服に焦点を当てた授業改善
- ◎ 本町特有の教育資源や体験活動による課題解決的学習の工夫
- ◎ 各種交流授業による「ふるさとを愛し、ふるさとと共に生きる心」を育てる指導の工夫

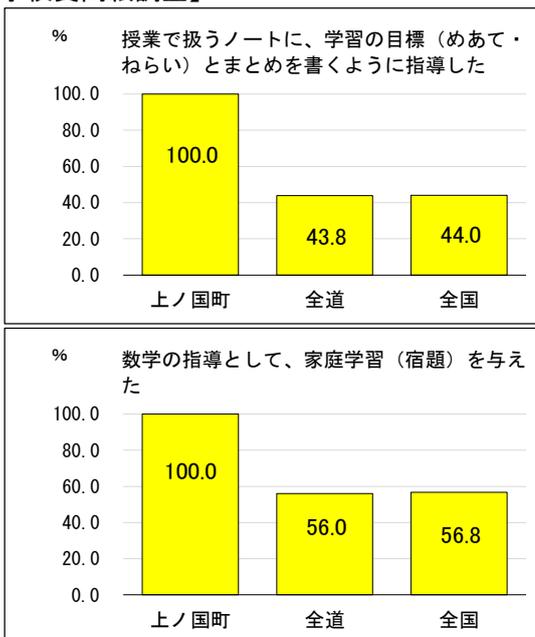
■上ノ国町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:40人)

【教科全体の状況】

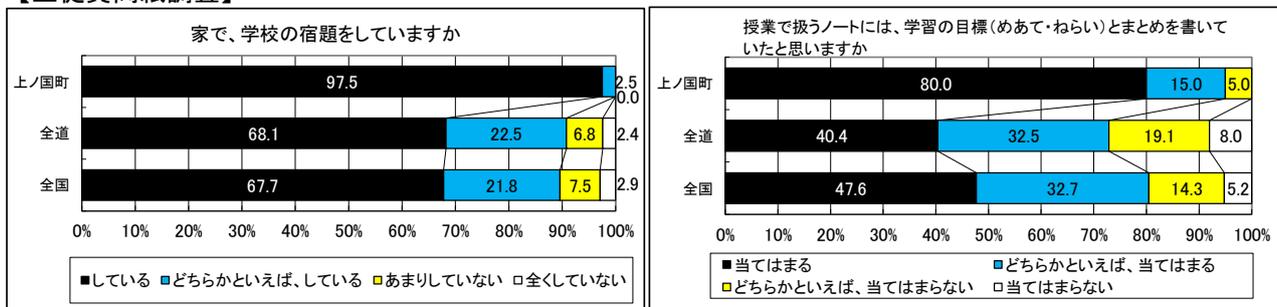
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「読むこと」で他の領域と比べ、全道とほぼ同様になっている。 ○ 数学A・Bでは、「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの共同体」に基づき小学校と連携し、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く習慣が身に付いてきていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、数学の指導として、家庭学習(宿題)を与えたことにより、家で、学校の宿題をする習慣が身に付いてきていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くよう指導している。 ○ 数学の指導として、家庭学習(宿題)を与えている。 	

【上ノ国町の学力向上策】

- ◎ 上ノ国町「学びの共同体」に基づく保小中高間連携による育ちと学びの課題克服に焦点を当てた授業改善
- ◎ 本町特有の教育資源や体験活動による課題解決的学習の工夫
- ◎ 各種交流授業による「ふるさとを愛し、ふるさとと共に生きる心」を育てる指導の工夫